

大学・地域共創プラットフォーム香川
令和5年度第3回進学・教育部会（Web 会議）議事概要

日 時：令和5年12月18日（月）9:30～10:50

出席者：別紙（部会資料「R5 第3回進学・教育部会出席者名簿」）のとおりに

議題1 令和6年度事業及び予算計画について

※資料1、2に基づき、各取組の担当者から「進学・教育部会 令和6年度事業計画（案）」について説明があった。審議の結果、案のとおりに決定された。また、令和6年度予算計上予定額については、PF事務局及び他部会と調整する必要があることから幹事に一任されることとなった。

（せとうち観光専門職短期大学・田保委員）

これまでは出前講座一覧を高校に郵送しているが、デジタル化することも検討したい。

（幹事・徳島文理大学・中筋委員）

出前講座の高校への周知については、高校教育課と相談しながら進めてほしい。

（四国学院大学・山田委員）

「探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣」について、令和6年度は「出前講座・体験講座等への講師派遣」の一環として実施したい。

（幹事・徳島文理大学・中筋委員）

令和5年度の「探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣」については、派遣先の高校において成果発表会でのクラス代表チームの選出が直前となったことから発表テーマが定まらず、各大学等に講師の派遣を依頼することができなかった。本学から講師1名を派遣して6チームの発表について指導・助言を行ったが、発表テーマに即した専門分野の講師を派遣するためには、高校側とのスケジュール調整が課題である。

（香川短期大学・勘原委員）

「出前講座」などが高校の探究活動の支援につながっていると考えているが、高校においてどの程度活用されているのかをアンケート調査などで分析することも必要である。

（香川県・佐々木委員）

「県内大学等合同進学説明会」については、参加校を増やすためにももう少し工夫をすることやこちら側の事務負担も考え委託をしたいと考えている。それぞれの大学や短大、受け入れする高校側の事情を見極めたうえで、参加校が増えるような形で実施したい。

（四国学院大学・山田委員）

「合同大学説明会・交流会」については、開催に向けて県教委との相談をすることとなっている。

（せとうち観光専門職短期大学・田保委員）

「合同大学説明会・交流会」をどういった形で開催するのが最善なのか、検討しているところである。

（香川短期大学・勘原委員）

「合同大学説明会・交流会」を休日に開催するのは参加する高校教員にとって負担となる。

今年度開催した保護者対象の「合同大学等説明会」には高校教員も参加していたことから、このような場を活用してもよいのではないかな。

また、「出前講座」については、高校がどのようなテーマに興味・関心を持っているのか知りたい。

(せとうち観光専門職短期大学・田保委員)

今年度は「出前講座」を行った高校を対象にアンケート調査を行っているので、部会の中で情報を共有したい。

(幹事・徳島文理大学・中筋委員)

「出前講座」のタイトル名を、講師派遣をした大学等からも集約してほしい。

(香川県立保健医療大学・平川委員)

単位互換については、単位互換制度の活性化について協議している「香川県内 5 大学間の学生関係連絡会」と連携して共通科目を開設してはどうかとの提案があるので検討したい。

(香川大学・野崎委員)

「リスクマネジメント活動」について、本学では全学共通教育において防災士の養成などに力を入れている。四国は災害等に関して危機的状況にあることから、リスクマネジメントに関わる活動を継続し、連携大学間で共有したい。

「数理・データサイエンス・AI 教育事業」については、数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアムで展開しており、香川県の中での認定校が増えてきている。今後も連携大学等と協力して教育の推進に努力したい。また、来年 3 月 6 日には四国ブロックシンポジウムが開催されるので、ぜひ参加いただきたい。

(幹事・徳島文理大学・中筋委員)

令和 6 年度新規提案 1 「授業科目の共同開発と開講」については、若者定着の観点から、例えば「香川に対する地域理解」に関連する科目を作り、プラットフォーム構成機関が分担して授業を行うというものである。高等教育機関だけでなく、自治体や産業界からの講師が入ってもよいのではないかな。授業の方法や場所、開講時期など、課題は多いが前向きに検討しては如何かな。

(香川大学・野崎委員)

「授業科目の共同開発と開講」については、徳島文理大学に音頭を取ってもらい、各大学等の教育推進担当で議論を始めていく方向で検討をしては如何かな。

(幹事・徳島文理大学・中筋委員)

パンフレットスタンドへの広報資料補充について、取りやめてはどうかとの提案があるが、要望のあった高校に設置していること、県内大学等の広報活動の場であることなどから、できる限り継続したいと考えている。

(香川短期大学・勘原委員)

パンフレットスタンドへの広報資料補充については、本学では継続したい。継続するか否かは各大学等の判断でよいのではないかな。

(四国学院大学・山田委員)

本学も補充を継続したい。パンフレットスタンドには大学案内や入試要項を提供しており、高校訪問の折に補充しているのであまり負担感はない。

(香川県立保健医療大学・平川委員)

本学では経費削減の観点から冊子などの印刷物を見直している。オープンキャンパスは重要なイベントであるので継続する可能性があるが、パンフレットスタンドへの補充については、各大学の事情に合わせて検討するということで如何か。

(幹事・徳島文理大学・中筋委員)

パンフレットスタンドへの広報資料補充については、各大学の事情に合わせて実施する方向で、担当者の高松大学・高松短期大学において検討してほしい。

(香川県・佐々木委員)

今年度デジタル化したキャンパスガイドについては、県内の高校生らにリーフレットを配布して引き続き広報に努め、校長会等でも周知していきたい。キャンパスガイドの情報の更新は、システム上、各大学等において更新できるようになっているが、その時期や方法等については今後相談したい。

県内の高校生だけでなく県外の高校生にもキャンパスガイドの情報を届けられるよう、令和 6 年度は Web 上のバナー広告等を活用した広報活動もしていきたいと考えている。

令和 6 年度新規提案 2「プラットフォーム HP 内での新規専用ページ作成」については、県内の小中高校が、プラットフォーム内の取組を一覧で見られるよう、専用ページの開設を考えており、今後、事務局と相談したい。小中高校に対しての PR なので、進学・教育部会の取組の PR がメインになると考えている。

(幹事・徳島文理大学・中筋委員)

令和 6 年度新規提案 3「外国人留学生対象の合同大学進学説明会の開催」については、学生確保の観点から、また国も外国人留学生の受け入れを推進していることから、開催を提案したい。県内外の日本語学校に出かけての説明会、外国人留学生からの問い合わせ窓口の設置などが考えられる。部会内で前向きに検討することで如何か。

外国人留学生対象の進学説明会を実施している大学等があれば状況を説明いただきたい。

(香川短期大学・勘原委員)

本学では説明会は開催していないが、岡山県、広島県、沖縄県の日本語学校を訪問して、学生募集を行っている。

議題 2 次期中長期計画の策定について

※資料 3、4 に基づき、部会幹事から「次期中長期計画の策定」について、以下のとおり説明があった。骨子について委員から今後意見を聞き、私立大学・短期大学が中心となって次期中長期計画の案を令和 6 年 1 月中旬に作成することとなった。

(幹事・徳島文理大学・中筋委員)

令和 4 年度第 1 回運営委員会及び総会において、「旧大学コンソーシアム香川 中長期計画（計画期間：2019 年度～2023 年度）」を「大学・地域共創プラットフォーム香川 中長期計画」として暫定的に使用することが承認されている。現在の計画期間は今年度までとなっているため、運営委員会にて次期中長期計画の策定について検討する必要がある。11 月 17 日に開催された第 4 回 3 部会合同連絡会において審議し、次のとおり決定された。

・プラットフォーム全体の中長期計画を策定するためには、各自治体が策定している総合

計画等との整合性をとらなければならないため、私立大学等総合改革支援事業に対応した項目（主には高等教育の充実）に絞った中長期計画を策定する。

- ・ 中長期計画は、進学・教育部会において案を作成した後、運営委員会に諮って策定し、総会に報告する。

【議題3「その他」】

特になし

【その他事項】

1 その他

- ・ 今後の主なスケジュール

令和6年2・3月 運営委員会（予定）

令和6年3月27日 総会

本部会は運営委員会と前後して、1～2回程度の開催予定

- ・ 各部会の幹事（部会長）・副幹事の選任について

部会幹事の任期は2年間であり、令和6年3月31日を以て任期満了となるため、幹事・副幹事の後任について早めに検討・打診を行う必要がある。

以上